

## ◆ 学びのポイント

1

様々な心理学に関する科目を通して、児童・生徒の心理的特徴に関する知識を学ぶ

児童期・青年期の心理的な特徴を理解した上で、教員は子どもに接する必要があります。多様な領域の心理学を学習し、児童・生徒への実践的な対応能力の土台を形成します。



2

心理学検査、心理学実験等の科目を通して、個人差理解の姿勢を学ぶ

教員は、個々の子どもたちの特徴を知る必要があります。豊富な実験や演習の授業を通して、個人差を理解するための姿勢を育成します。

3

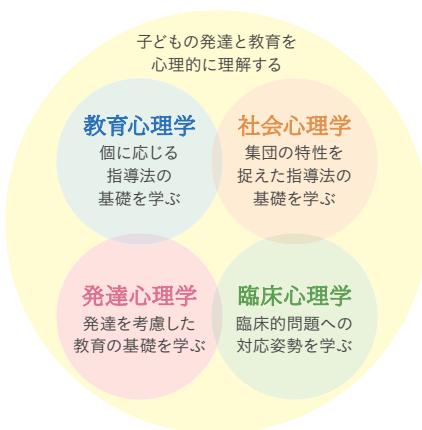
心理学研究法等の科目を通して、心理を客観的に把握する技能を学ぶ

子どもの心理は、客観的に理解できるようにしなければなりません。統計的な分析、人の行動を捉える方法を学ぶことを通して、心理を客観的にとらえる姿勢を習得します。

## ◆ 学びの領域

心理学を背景とした学びの領域

教育、発達、社会、臨床という4領域の学びによって、児童・生徒への実践的な対応能力の土台が形成され、心理学的視点を背景とした指導力が生まれてきます。



子どもたちの心理的な特徴を考慮して、  
児童・生徒の成長を促すことができる教員を養成します。

心理学専攻の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

My Schedule

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	認知発達特講			教育実習事前指導		視覚障害児の教育I
3・4時限	学校教育相談特講	初等教科実践指導		教育実習事前指導		重複障害教育の理論と実際
5・6時限		心理学研究法				
7・8時限	肢体不自由教育方法				知的障害の医学	
9・10時限				教育臨床心理学特講		



心理学研究法

心理統計の基礎知識及びデータ分析の専門的スキルを学習します。そのために、個々にパソコンを使用し、データに対するソフト適用の方法を実習します。



教育臨床心理学特講

心の健康や、子どもと教師の対人関係などについて学びます。そして、教育に関する問題に対して、多様な視点から考察する力を身につけます。



認知発達特講

専門書の講読を通して、認知発達に関する心理学の視点や知見を理解し、その理解に基づいて教育や発達支援について考えます。

Student's Voice

在学生の声

「心理学と教育の結びつき」

心理学専攻4回生

中村 理香子さん

(奈良県立奈良高等学校出身)



「心理学と教育がどのように結びつくのか、イメージすることが少し難しい」という人もいるのではないのでしょうか。心理学とは、人の心の動きを科学する学問です。ですので、心理学を学ぶときには、人の心に寄り添うことが求められます。これは、教育においても同じです。子どもの心に寄り添い、その子どもがどのような気持ちを感じているのか、どのような葛藤を抱えているのか共感することはとても大切です。このような「人の心に寄り添う教員」を目指すのが、ここ「心理学専攻」です。

授業では、教育心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学など、様々な分野を扱います。講義で基礎を学び、実験や心理学検査を通して実践的な学びを深めることで、人の心の動きに注目する視点が身につけていくように思います。さあ、心理学専攻へ！

主な開講科目

心理学概論／心理学検査I・II／教育心理学特講・演習  
認知発達特講／認知発達演習／教育臨床心理学特講・演習  
人間環境心理学／心理学実験／心理学研究法

取得できる免許状

小学校教諭一種 等(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路

教員、公務員、企業が主な進路です。過去3年間では、教員になった卒業生の半数以上が全国の公立小学校に勤務しています。その他、大学院に進んで心理学の専門職(心理判定員等)をめざす卒業生もいます。

教員および専門分野(令和2年5月1日現在)

- ・出口 拓彦教授／教育臨床心理学 ※令和3年度から教育社会心理学に変更予定  
対人関係、規範意識、適応、学級集団等に関する研究
- ・中山 留美子准教授／発達心理学  
人格・自己の発達に関する調査的研究
- ・市来 百合子教授／臨床心理学  
心理臨床における非言語的なアプローチに関する研究
- ・石井 僚特任准教授／教育心理学  
青年期の学習場面を中心とした適応に関する研究
- ・堀 麻佑子特任准教授／学習心理学  
子どもの認知発達・学習に関する実験的研究